

ディープバリュー株オープン

追加型投信／国内／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてディープバリュー株オープン マザーファンドを通じてわが国の株式に投資し、Russell/Nomura Total Market Value インデックスを中・長期的に上回る運用成果を目指します。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年2月23日～2022年2月21日

第22期	決算日：2022年2月21日	
第22期末 (2022年2月21日)	基準価額	15,867円
	純資産総額	695百万円
第22期	騰落率	12.8%
	分配金合計	150円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

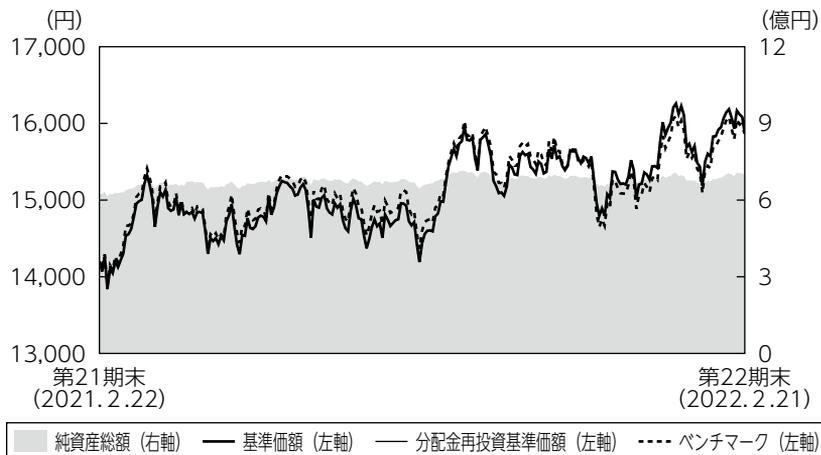
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第22期首： 14,202円
 第22期末： 15,867円
 (既払分配金150円)
 騰落率： 12.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (Russell/Nomura Total Market Value インデックス) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルス感染症の感染状況に左右されつつも、企業業績の拡大に支えられ、2021年の国内株式市場は堅調に推移しました。2022年に入ると、欧米諸国による金融引き締め政策への転換懸念が強まり、長期金利が上昇し、株価指標の割安な銘柄が選好される相場展開となりました。当ファンドの基準価額は、輸送用機器や卸売業などのセクターに属する銘柄が牽引し、前期末比で上昇となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	第22期		項目の概要
	(2021年2月23日 ～2022年2月21日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	207円	1.371%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,127円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(95)	(0.631)	
(販売会社)	(95)	(0.631)	
(受託会社)	(17)	(0.110)	
(b) 売買委託手数料	7	0.045	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(7)	(0.045)	
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	215	1.418	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

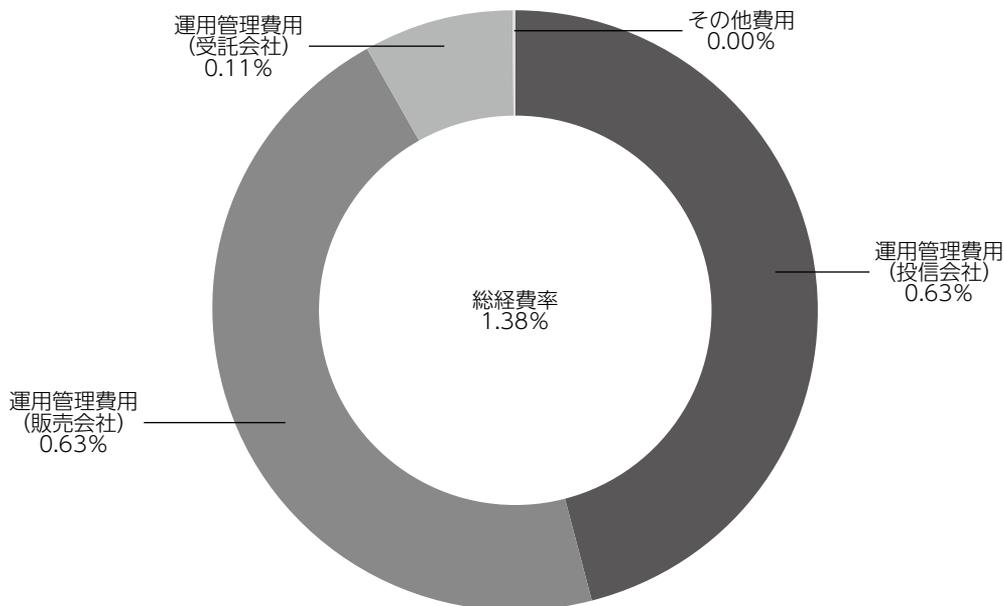
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



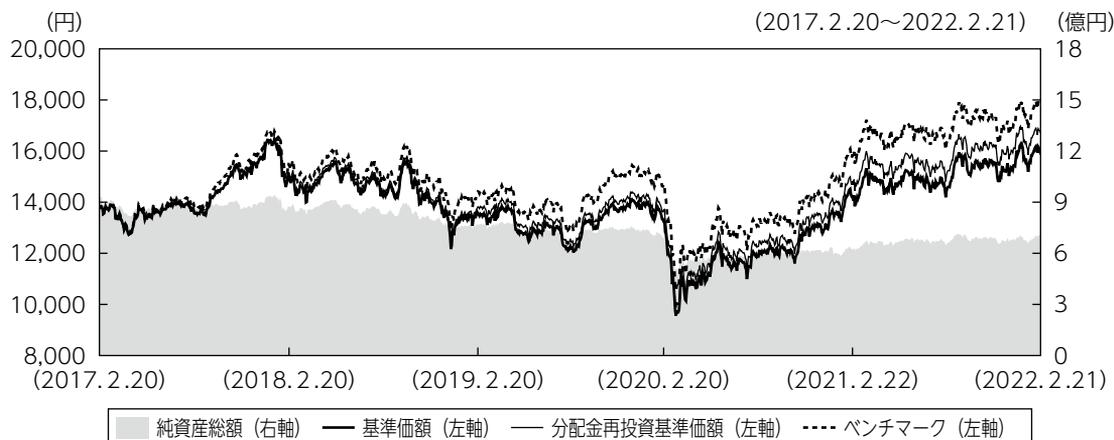
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (Russell/Nomura Total Market Value インデックス) は、2017年2月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年2月20日 期首	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	13,738	14,905	13,532	13,254	14,202	15,867
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	150	150	150	150	150
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	9.6	△8.2	△0.9	8.3	12.8
ベンチマークの騰落率 (%)	—	12.4	△6.6	1.8	8.2	11.7
純資産総額 (百万円)	914	869	764	685	623	695

投資環境

当期の国内株式市場においては、企業業績の拡大が株価の上昇を支える一方で、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や欧米諸国による金融政策の引き締め方向への転換が懸念される状況が続きました。期初より2021年末頃まで株式市場は堅調に推移していましたが、2022年に入ると、欧米諸国による金融政策転換への懸念が強まったことに、ウクライナ情勢の悪化という地政学リスクが加わり、期末にかけては不安定な相場展開となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

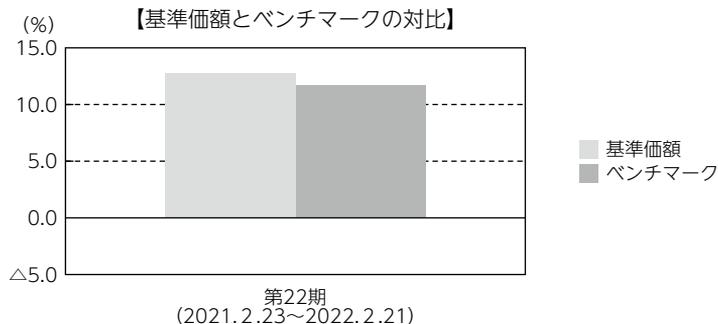
ディープバリュー株オープン マザーファンドを高位に組み入れて運用を行いました。マザーファンドの運用に関しては、Russell/Nomura Total Market Value インデックスを中長期的に上回る運用を目指し、インデックス連動ポートフォリオとアクティブ運用ポートフォリオを重ね合わせて最終的な銘柄選定を行うオーバーレイ運用を行いました。

●ディープバリュー株オープン マザーファンド

マザーファンドの運用に関しては、P E R（株価収益率）やP B R（株価純資産倍率）などのバリュエーション指標が割安を示唆する銘柄の中から、利益成長率が相対的に高いと思われる銘柄を選択し運用を行いました。期中においては、東京海上ホールディングス、東海旅客鉄道などの買い付けを行う一方、日立製作所、ソニーグループなどの売却を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの基準価額は、ベンチマークであるRussell/Nomura Total Market Value インデックスを上回る上昇率となりました。インデックス連動ポートフォリオはベンチマークに連動した動きとなり、アクティブ運用ポートフォリオはベンチマークに対して超過収益となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年2月23日 ～2022年2月21日
当期分配金（税引前）	150円
対基準価額比率	0.94%
当期の収益	150円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	10,029円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続きディープバリュー株オープン マザーファンドへの投資を通じて株式の組み入れを行う方針です。なお、マザーファンドの組入比率は高位を維持します。

●ディープバリュー株オープン マザーファンド

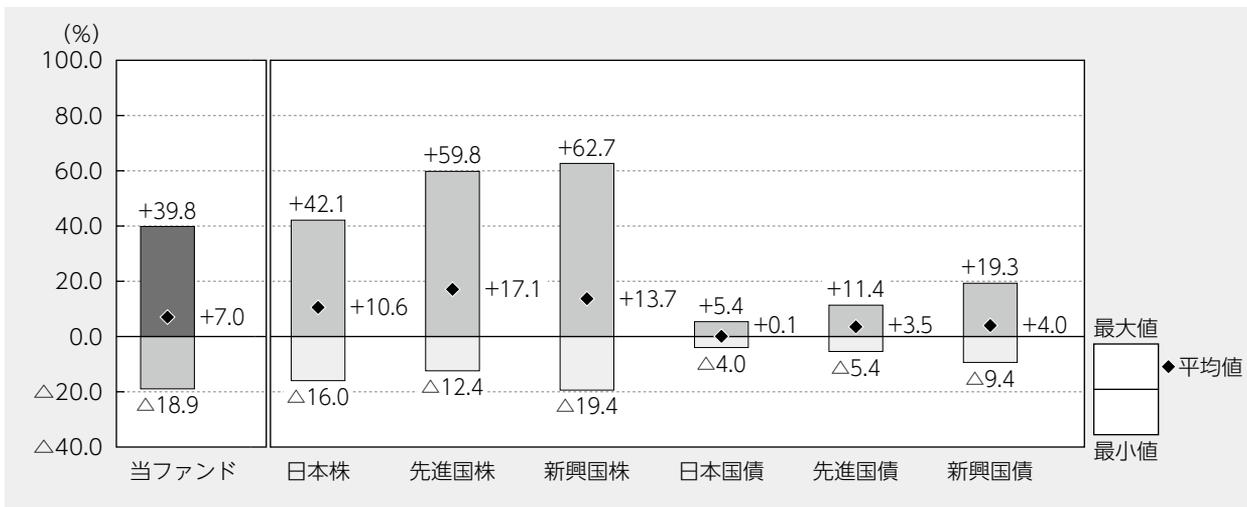
マザーファンドの運用に関しましては、Russell/Nomura Total Market Value インデックスを中長期的に上回る運用を目指し、インデックス連動ポートフォリオとアクティブ運用ポートフォリオを重ね合わせるオーバーレイ運用を行います。全ポートフォリオに占める比率は、インデックス連動部分を70～80%程度、アクティブ運用部分を20～30%程度とし、株式の組入比率は原則高位を保ちます。

ファンドマネージャー 松岡 珠美

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	主としてわが国の株式へ投資することで、信託財産の成長を目標に運用を行います。	
主要投資対象	ディープバリューストックオープン	ディープバリューストックオープン マザーファンド受益証券ならびにわが国の取引所上場株式。
	ディープバリューストックオープン マザーファンド	わが国の取引所上場株式。
運用方法	主としてディープバリューストックオープン マザーファンドを通じて、Russell/Nomura Total Market Value インデックスに採用されている銘柄から、同インデックスの構成比や企業のファンダメンタルズ等を総合的に判断して組入銘柄を選定します。インデックス連動ポートフォリオとアクティブ運用ポートフォリオで個別に組入銘柄候補を選定した上で、両ポートフォリオを重ね合わせて最終的な銘柄選定を行うオーバーレイ運用を行います。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準・市況動向等を考慮して決定し、毎期分配を行います。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年2月～2022年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2022年2月21日現在）

◆組入ファンド等

（組入ファンド数：1ファンド）

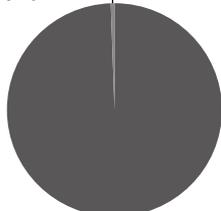
	当期末
	2022年2月21日
ディープバリュー株オープン マザーファンド	99.4%
その他	0.6

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

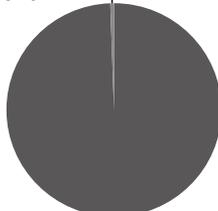
その他
0.6%



親投資信託受益証券
99.4%

◆国別配分

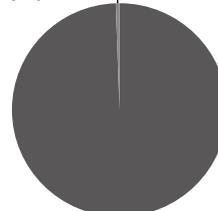
その他
0.6%



日本
99.4%

◆通貨別配分

その他
0.6%



日本・円
99.4%

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	当期末
	2022年2月21日
純資産総額	695,797,160円
受益権総口数	438,511,429口
1万口当たり基準価額	15,867円

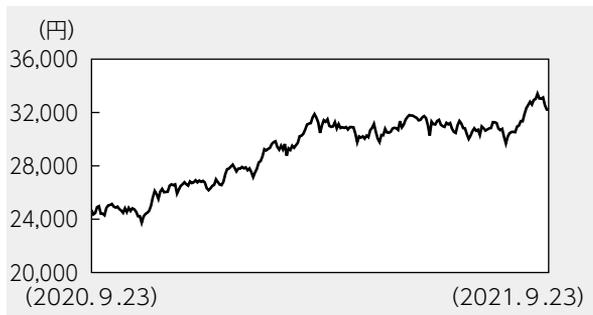
（注）当期中における追加設定元本額は84,459,407円、同解約元本額は85,096,689円です。

組入ファンドの概要

【ディープバリュー株オープン マザーファンド】

(計算期間 2020年9月24日～2021年9月23日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

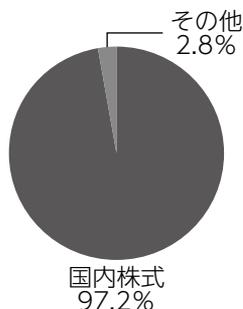
銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.7%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	2.9
日立製作所	日本・円	2.8
KDDI	日本・円	2.6
三菱商事	日本・円	2.6
デンソー	日本・円	2.3
本田技研工業	日本・円	2.0
第一生命ホールディングス	日本・円	2.0
商船三井	日本・円	2.0
日本電信電話	日本・円	2.0
組入銘柄数	204銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

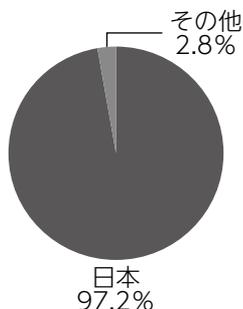
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	16円 (16)	0.054% (0.054)
合計	16	0.054

期中の平均基準価額は29,080円です。

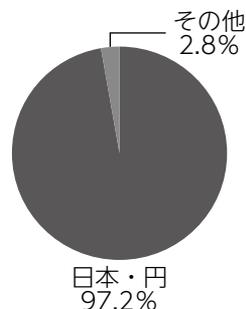
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●Russell/Nomura Total Market Value インデックス

- Russell/Nomura Total Market Value インデックスは、野村証券金融工学研究センターとFTSE Russell Indexesが共同開発した日本株インデックスの一つです。
- Russell/Nomura Total Market Value インデックスは、Russell/Nomura Total Market インデックス採用銘柄のうち、有価証券の含み損益ならびに退職給付債務の未認識項目を利用して修正したPBR（株価純資産倍率）の低い銘柄で構成されています。なお、Russell/Nomura Total Market インデックスは、全上場銘柄の時価総額（安定持ち株控除後）の98%以上をカバーしています。
- Russell/Nomura Total Market Value インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村証券株式会社およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村証券株式会社およびFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Total Market Value インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Total Market Value インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村証券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。